

令和5年度第1回国土技術政策総合研究所入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和5年6月28日（水） 三田共用会議所	
委員	委員長 久保田 尚（埼玉大学大学院教授） 委員 篠田 友彦（公認会計士） 委員 長井 宏平（東京大学生産技術研究所准教授） 委員 義経百合子（弁護士）	
審議対象期間	令和4年10月1日 ～ 令和5年3月31日	
事案の抽出	国土技術政策総合研究所が審議対象期間に発注した工事、建設コンサルタント業務等及び物品・役務の一覧表から、今回の抽出当番委員である長井委員により事前に無作為の方法により抽出されたものである。	
抽 出 事 案（審議順）		
区 分	件 名	
物品役務等		
一般競争入札方式	① 自動比色分析装置購入 ② 鋼桁供試体の製作・運搬業務	
建設コンサルタント業務等		
一般競争入札方式 （総合評価落札方式）	③ つくば地区共用電子計算機システム更新検討業務	
随意契約方式 （簡易公募型（拡大型） プロポーザル方式）	④ 衛星画像を活用した航路監視体制の強化及び港湾施設の被災状況把握に関する検討業務 ⑤ 表層崩壊の危険度評価に基づく崩壊生産土砂量予測検討業務 ⑥ 歩車道境界部の利活用事例等調査業務 ⑦ 新技術活用による主要な都市問題解決効果をはかる計画評価モデル（案）等の作成業務 ⑧ 建設施工環境の変化を考慮した土木施工の安全対策の高度化に関する検討業務	
委員からの意見・質問に対する説明・回答	意見・質問	説明・回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	な し	

意見・質問	説明・回答
<p>【抽出事案】</p> <p>(1) 自動比色分析装置購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加者を増やす取組は。 ・年度を分けて調達した理由は。前年度に本体を購入した会社と同じ会社が応札したもののか。説明書を入手したが入札に参加しなかった理由を確認しているか。 <p>(2) 鋼桁供試体の製作・運搬業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加者を増やす取組は。 ・桁を製作できる会社は多いと思うが、1者応札となった理由は。 ・受注者以外の事業者は入札情報を把握しているか。 <p>(3) つくば地区共用電子計算機システム更新検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この案件に限らず落札率が100%に近いものが多いが、金額が妥当であるかチェック機能のようなものはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札に参加できる等級区分をC等級からB～D等級に広げている。 ・予算の関係で分割して購入せざるを得なかった。前年度も製造元である同じ会社から購入している。今回は入札に参加しなかった事業者には理由は確認していないが、今後は確認したい。(後日確認したところ、情報収集が目的であった。) ・入札に参加できる等級区分をC等級からA～C等級に広げている。 ・実際の橋梁工事と比べ、業務規模が小さいことが考えられる。 ・入札情報メールサービスや政府の電子調達システム等で周知しており把握していると思われる。 ・国総研の発注業務は標準的な歩掛かりがないものがほとんどであるため、技術的な知見のある複数の事業者から参考見積を徴取し予定価格を設定している。参考見積を提出した事業者が入札に参加した場合は、100%に近くなることもある。

意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> ・DX化などで、こういった業務を扱う事業者は多いと思うが、一者応募であった理由は。 <p>(4) 衛星画像を活用した航路監視体制の強化及び港湾施設の被災状況把握に関する検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から3ヶ年かけて研究を行うが、令和3年度の受注者は今回の受注者と同じ事業者か。 ・検討業務でこれほど金額が大きくなる理由は。 ・SARデータの分析は最近値上がりしているが、相手方の言い値にならないよう、官側でしっかりコントロールしていただきたい。 <p>(5) 表層崩壊の危険度評価に基づく崩壊生産土砂量予測検討業務</p> <p>(6) 歩車道境界部の利活用事例等調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6者から応募があった理由は。 <p>(7) 新技術活用による主要な都市問題解決効果をはかる計画評価モデル（案）等の作成業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応募となった理由は。 ・分野が多岐に亘り、難しい内容であるので、業務の分割などを検討してはどうか。 ・不調になった後、資格要件等を見直して公募したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札に参加しなかった事業者からは、主に業務実績や配置できる技術者がいないため参加を見送ったと回答を得ている。また、現在運用中のシステムを設計した者以外の者も、入札に参加できるような業務内容としているが、公募時期が繁忙期になってしまったこともある。 ・令和3年度は2者から応募があり、令和4年度の受注者が構成員となっているJVが受注した。 ・人工衛星の画像を取得し分析するものであり、参考見積を徴取している。 <p>意見・質問なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全系の業務は裾野が広く複数応札になる傾向がある。 ・調査対象が多岐に亘ること、新しい分野であるスマートシティの事例収集が難しいと受け取られたことなどが考えられる。 ・業務内容を減らし、繰越手続を行い履行期間を確保した。

意見・質問	説明・回答
<p>(8) 建設施工環境の変化を考慮した土木施工の安全対策の高度化に関する検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整理するデータは公表されているものか。 ・ 1者応募となった理由は。 ・ 全体的に下期契約になると、工期が短くなること、他の業務との関係で技術者が配置できないことにより一者応札が増える傾向になる。上期の発注を増やすよう努力いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web上で公表されているデータであり、国総研が指定したデータを使用するものである。 ・ 今後の受注につながる業務内容ではないため、事業者にとって魅力的な業務ではないと考えられる。 ・ 前年度業務の成果や本省内の検討を踏まえて発注内容を決定しなければならないことなどにより発注時期が遅くなるケースが多い。
<p>【総括】</p> <p>今回の「定例会議」の審議案件については、特に指摘すべき不適切な点、改善すべき点は、認められなかった。</p>	

※「国土技術政策総合研究所」は「国総研」と表記している。

抽 出 事 案 一 覧

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
自動比色分析装置購入	物品の製造 物品の販売	1	1	R4.10.13	ビーエルテック(株)	4,829	100.00%
鋼桁供試体の製作・運搬業務	役務の提供等	1	1	R4.10.14	(株)IHIインフラシステム	29,150	97.53%

【工 事】

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
なし							

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式(総合評価落札方式))

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
つくば地区共用電子計算機システム更新検討業務	建設コンサル (土木)	1	1	R4.10.24	日本工営(株)	7,920	99.72%

(簡易公募型(拡大型)プロポーザル方式)

業 務 名	業種区分	技術提案書の 提出者の選定数	技術提案書の 提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
衛星画像を活用した航路監視体制の強化及び港湾施設の被災状況把握に関する検討業務	建設コンサル (土木)	1	1	R4.11.9	(株)パスコ	49,170	99.96%
表層崩壊の危険度評価に基づく崩壊生産土砂量予測検討業務	建設コンサル (土木)	3	3	R5.2.27	(株)オリエンタルコンサルタンツ	9,977	100.00%
歩車道境界部の利活用事例等調査業務	建設コンサル (土木)	6	6	R4.12.5	(株)プランニングネットワーク	8,987	99.76%
新技術活用による主要な都市問題解決効果をはかる計画評価モデル(案)等の作成業務	建設コンサル (土木・建築)	1	1	R5.1.16	計量計画研究所・福山コンサル タント設計共同体	7,942	99.72%
建設施工環境の変化を考慮した土木施工の安全対策の高度化に関する検討業務	建設コンサル (土木)	1	1	R4.12.16	(一社)日本建設機械施工協会	17,985	98.02%